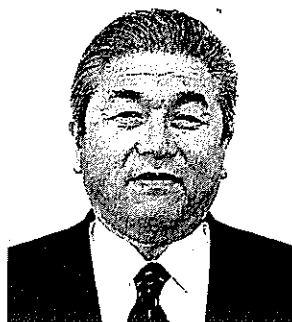


厳しい財政運営にご協力を

村長 鈴木 孝雄



新年を
迎えて

明けましておめでとうござ
います。

平成十八年の新春を迎え、
皆様のご健康を心からお祝い
申し上げますとともに、村政
に対するご理解とご支援に対
し、深く感謝申し上げます。

昨年は、合併五十周年と田
舎館中学校落成の記念の年で
ありました。

田澤吉郎先生、横綱栃ノ海
関ら多くの先人、二千年前の
稲作を伝える垂柳遺跡、水稲
反収日本一十一回、浅瀬石川
の大洪水、新しい四本の橋、
遙かにしえの田舎館を思い
起こさせる城を模った村役場、
その天守閣から見る田んぼ
アート、どれをとっても話題の
尽きぬことばかりであります。

ある新聞に、「海もない、
山もない、観光地もない地に
十三万人を集める村、それは
日本一のアートの村でありま
す」と記されておりました。村
民が一丸となつて作り上げた
傑作であります。今年もまた
すばらしい作品を作りたいと
思いますので、皆様方のご協

力をお願い申し上げます。

私達は、三位一体改革のも
と厳しい財政運営を強いられ
ています。今までのような財
政運営を続けると三、四年
後には財政再建準用団体に転
落するものと推測されます。

これを回避するために、議会
の協力を得ながら、議員及び
三役の期末手当五十パーセン
ト削減、職員の期末手当〇.三
ヶ月分削減、次回改選時より
議員及び農業委員の選挙定数
の削減、職員の退職者不補充
といった厳しい方向付けの集
中改革プランを策定している
ところであります。村民の皆
様には不自由をおかけするこ
ともあると思いますが、この
ハードルは必ず越えなければ
ならないものであり、皆様方
のご協力をお願いいたします。

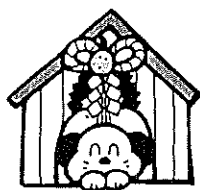
市町村合併につきましては、
就任以来、早期の合併を目指
して参りましたが、合併の枠
組みが決まった状況下のため、
合併にはいたりませんでした。
県の審議会も発足しましたが、
一方的に合併の枠組みを示す

ことはせず、熟度の高い地域
から随時対象に追加していく
方向であると聞いています。

合併の先行した地域で、合併
に伴う一連の日程、諸事務等
が落ち着いた段階で、村民の
皆様の意見を参考にしながら、
早期の合併に向けて努力して
いく所存でございます。

昨年は、各地で児童・生徒
に対する悲しい事件が相次ぎ
ましたが、本村の児童・生徒
たちの勉強やスポーツに励む
姿は、私達に大きな喜びと希
望を感じさせてくれます。村
の将来の発展を担う子供達に、
地域の人達とともに大きな声
援と暖かいまなざしを送り続
けていかなければならないと
考えています。

村の目標である「人温も
り」「緑きらめく」「夢大地
を生きる」村づくりを目指し
て努力して参る所存でありま
すが、皆様方のご協力を賜り
ますようお願い申し上げます
とともに、皆様のご多幸をお
祈り申し上げます、新年の
ご挨拶いたします。





子供たちの道筋を確かに

村議会議長 阿部 潤司

明けましておめでとうござ
います。村議会を代表して村
民の皆様へ、謹んで新年のご
挨拶を申し上げます。

昨年は記録的な豪雪に見舞
われ住宅や農業施設への被害
も甚大なものがありました。
また雪解けの遅れから春の農
作業も心配されましたが、そ
の後の天候の回復により一安
心しました。

また、村では合併五十周年
の記念式典と中学校の落成式
典が衆議院選挙と重なり、
一ヶ月延期になりましたが、
質素な中にも思いを新たにす
る節目の年になった様な気が
致しております。式典の祝辞
の中で、五十年前の合併時、
私は小学校二年生でしたと申
し上げたところ、会場の出席
者からの反応が感じられ、こ
の村の五十年後を託す子供達
への道筋を確かにする責任が
私達にある事を痛感させられ
ました。先人が築いてきた村
を誇りとし、伝統と精神を受
け継ぎながら平成の大合併と
いう大きな時代の流れに乗っ

ていかなければならないと
思っております。

今現在、合併は新しい枠組
みさえ出来ておりません。こ
の後どのような形で議論が進
むか現段階では申し上げられ
ませんが、村民の皆様のご意
見を頂く機会もあるかもしれ
ません。その折には率直なご
意見を賜われたらと思います。

昨年議会は、来年秋の村議
選から議員定数を現在の十五
人から五人減らし十人にしま
した。合併が出来ていたら、
このような定数削減に手を付
ける必要もなかった訳ですが、
来年の改選期にも合併が出来
ない事が予想出来たからです。
昨年度早々、財政の厳しい中
での行政運営に村当局から予
算削減に協力をという申し出
があり、「議会も例外ではな
い」との思いから、率先して
これに協力し、他の手当の削
減、費用弁償の撤廃、そして
定数の削減へと一連の流れを
九月議会で議決していただき
ました。議員の皆様には、私
の提案に賛成して頂き、頭の

下がる思いでした。この議決
は我が村議会の誇りになると
思います。それも根底には財
政が悪い所とは合併したくな
いという近隣市町村の思惑が
見え隠れしている事を議員全
員が知っているからだと思
います。財政が悪いままでも
努力した証も見せなくては
けません。このようにして合
併の糸口を探りつつ、合併相
手に対する配慮も必要と思
う一念からです。

厳しい財政計画が実行でき
るように努力する一年が始ま
ります。それには村民皆様の
ご理解とご協力が欠かせませ
ん。私達議員一同も行政との
両輪である事を再確認しなが
ら村民の代表として責任ある
議会運営に努めて参りたいと
思います。村民の意思が反映
され地域格差の出ない新しい
方向性が見出せたらとご祈念
申し上げます、年頭のご挨拶と致
します。

村民の皆様にとりまして幸
せな年でありませうお祈り
申し上げます。